

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぱんはうすさくら新潟女池教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 4日 ~ 2025年 12月 11日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 26日 ~ 2025年 12月 3日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会体験イベント・ご家族で参加できるイベント	<ul style="list-style-type: none"> <li>マクドナルドやサーティーワンなど、子ども達が「行きたい」と、主体的に参加できるような社会体験イベントを計画した。金銭授受や店員さんとの受け答えなど、子ども達一人ひとりの支援の量を見極めながらサポートし、「できた」の自信に繋げられるよう実施している。</li> <li>夏祭りやクリスマス会等、ご家族の方々にも教室内や、日頃のお子様のご様子を見ていただく機会となるよう計画、実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立に向け必要な生活スキルを身に付けていくよう、クッキングや公共の乗り物に乗る機会等、さまざまな体験ができる内容を盛り込み、イベント内容の充実を図る。</li> <li>保護者の方からのニーズの聞き取りや、子ども達からのリクエストを参考に、楽しみながら自立に向け必要となる社会性を身に付けていくような内容を計画していく。</li> </ul>

2	専門職者による専門的支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジタイム等の個別療育や、集団プログラム内でサークル等の運動遊びを通して、理学療法士による機能訓練を行っている。</li> <li>・面談時等にニーズの聞き取り、必要に応じて土曜や日曜に個別の運動療育を実施している。療育の様子は保護者の方に見学していただき、お子様の様子を見ながら達成度を評価してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジタイムやサークル等の日々の療育と、個別に行う運動療育を連動させ、繋がりのある支援を計画することで、ステップアップを図る。</li> <li>・保護者の方に療育を見ていただきたり、お子様の様子を評価していただく機会を作ることで、お子様の強みや課題に対する達成度を、肯定的に捉える機会を創出する。</li> <li>・個別の療育の中で身のこなしや動作のコツを掴むことで友達との遊びや集団活動の中で「できる」「わかる」という自信と意欲に繋げる。</li> </ul>
3	集団プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団の中での、一人ひとりの社会性や身体の機能性、認知、運動面に留意しながら活動を計画している。</li> <li>・一日の流れの中に、粗大活動（鬼ごっこ、ボールを使った運動遊び等）と机上課題（学習や食具等を使った微細活動等）をバランス良く取り入れている。</li> <li>・子ども達が「できた」と感じる場面が増えるよう、活動の課題設定を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の達成度や興味に合わせた、遊具や教具を用意し、活動の充実を図る。</li> <li>・区切りの時間や次に必要な行動など、流れの中で子ども達が気づき、理解できることが増えるよう、イラストや時計の教具等の視覚教材を使用し環境設定を行う。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害時対応の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間で計画を立て、2か月毎に訓練を行っているが、契約時の説明だけでは時間が足りず、十分な説明を行えていなかった可能性がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時だけではなく、個別支援計画の面談時にもお伝えする。</li> <li>・行事だけではなく、訓練計画を盛り込んだ年間計画をHUGやインスタで公開する。</li> <li>・安全計画については、玄関や廊下等の目保護者の方にも目にしていただきやすい場所への設置を検討する。</li> </ul>
2	家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族にも参加いただけるイベントはおこなったが、ニーズの把握がきておらずペアレントトレーニングや懇談会、きょうだい支援の機会を設けることができていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方に向けたアンケート等で、ニーズの聞き取りを行い、懇談会やペアレントトレーニングのプログラムを立案していく。</li> <li>・ご家族の方が、忙しい中でも参加の予定を立てていただきやすいよう、年間計画の中にご家族支援の計画を盛り込み、HUGの活動記録やSNSで情報公開を行う。</li> </ul>

3	地域の子ども達との関わりの機会	<ul style="list-style-type: none"><li>放課後のサービス時間では、下校時間にばらつきがあり、他事業所や他施設との時間の調整が難しかった。</li><li>公園や児童館などで、挨拶を交わしたり遊びの場面を共有する機会があったが、頻度は多くなかった。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>地域のイベントやお祭りに参加するなど、交流の機会を積極的に探し、取り入れていく。</li><li>女池教室で、夏祭り等の大きなイベントを開催する際には、ポスター掲示やSNSで告知し、可能な範囲で近隣の方も参加できる計画を検討する。</li></ul>
---	-----------------	---	---